



千歳で起きた 不思議体験

私たちが毎日歩いている見慣れた道。
 ここ 千歳市 ならではの飛行機の音や空の景色、
 千歳川や支笏湖の豊かな自然のにおい。
 そんな当たり前の日常のすぐ隣に、科学では説明がつかない
 「不思議な世界の入口」がそっと開いていることがあります。
 筆者もつい最近、河童との遭遇やカマイタチの襲来など
 誰にも信じてもらえなさそうな出来事がありました。
 私に特別な力があるわけではありません。
 ただ、「もしかしたら」という自分の直観に嘘をつかないだけ。
 そうした純粋な好奇心が、
 その入口をそっと開けてくれたのかもしれませんが。
 本特集では、市民の皆さんから寄せられたエピソードの中から、
 選りすぐりの不思議をお届けします。
 日常という名の パラレルワールド から 本当の世界 へ、
 あなたも一緒に足を踏み入れてみませんか。
 今宵はミステリーハンターとともに。

千歳のフシギ探偵 「ミステリーハンター・アトム」
 「不思議体験や怪奇現象には全て理由がある。解決できない謎はない」
 そう豪語する彼が、ついに秘密のベールを脱ぎ捨て、その姿を初公開！
 果たして、彼の鋭い考察が千歳の謎をどこまで解き明かせるか…
 ※なお、彼の考察は100%個人の感想であり何の根拠もありません。

聖奇現象!?

支笏湖のシツシー!?

希少生物!?

千歳の妖精!?

未確認飛行物体!?

と遭遇

Talriku Monga

U.Fo AHITES 新聞
 PHC-PLG BRITSAIS
 支笏湖のシツシー!?

「記憶を抜かれた」 UFO目撃情報

あれは数年前の寒い秋の夕方。親から「回覧板を置いてきて」と言われた当時の私。いつもならめんどくさいなと思いつつも渡しに行っていた。しかしその日はとてもじゃないが嫌な予感、恐怖心があった。天候も変で妙に外が暗かった。家を出て、ふと空を見上げると、絵に書いたようなUFOを目撃。衝撃を受けると同時に、誘拐されるのではないかと、とっさに隠れて様子を伺った。その後数十秒、下は反時計回り、上は時計回りでクルクル回りながら無音で飛んで行った。未知との遭遇過ぎて言葉を失い本能的にやばいと感じ、誘拐されるのではないかと恐怖した。もしかしたら、記憶を抜かれているだけ。私は何かされたのかも知れないですね。

ゴンちゃん

地球の最新情報が詰まったその「回覧板」が気になったのでしょうか。記憶を抜く技術があるなら、直接情報を抜き取るなんて朝飯前なはずですが…せつかくの技術を使いきれず、結局アナログにのぞき見するあたり、宇宙人も意外と苦勞しているのかもしれない。

そこだけが 揺れている

物心がついた頃から、決まった場所へ行くと、ふわふわとめまいがします。必ず同じ場所で、霊系の本などで色々調べてみるとその地の波動の違いなどなるようです。ひどい時は吐き気がするほど酔います。けれど、とても不思議ですがなぜか怖いと感じたことは一度もありません。冬より春から秋にかけてが1番ふわふわと目眩がします。毎回不思議でしょうがないので何かあるのか知りたいです。

ともみ

その場所に潜む「何か」がともみさんに伝えたいことでもあったのかも。冬でない時期に訪れるその感覚…けれど怖くない…。全く解決できなさそう…
迷宮入り。



いかがでしたでしょうか。ご紹介した不思議なエピソードの数々は、すべてここ千歳市で起きた出来事です。本特集を読み終えて、いつもの日常へ戻るとき。いつもの道や空ゆく飛行機、千歳川のせせらぎが少しだけ違って見えるかもしれません。科学では説明できない、誰にも信じてもらえない。けれど、確かにそこにはある。そんな「もしかしたら」という直感を、大切に信じてあげてください。きっとその先に、あなたがまだ知らない本当の世界が広がっているから。最後に、貴重な体験談を寄せてくださった皆さま、そして最後まで読んでくださった皆さまに心から感謝いたします。この不思議な記事を読み終えたあなたは、もう立派なミステリーハンターです。

不思議体験見聞録

皆さんから寄せられた体験談を
ミステリーハンターが徹底解剖

タイリク モモンガ襲来!?

屋外の煙突から過去2年間で2回も野生のタイリクモモンガが侵入してきました。都度捕まえて逃すのですが、失敗すると家の中を飛び回り大変です。他の動物の侵入は25年間ないのですが…不思議とこの子だけは定期的にやってきます。近所でも煙突のあるお家はあるのになぜうちだけ…? 他のお宅にもお邪魔してる…? くりっとした大きな目が可愛いなあとは思いますが…家の中を走り回る & 飛び回る予測不能な動きには圧倒され、野生の強さを感じます。動物園やペットショップでみるモモンガは安心感がありますが、野生の個体は何をするかわからず若干恐怖を感じます。

あんちま

首から上が 闇に消えている

昨年の12月市内某所。友人家族との食事会後、帰路についた知人女性から、震える声で「戻る」と電話がありました。その後、わが家に駆け込んできた彼女は、恐怖で立ち尽くしていました。理由を聞くと、道に迷って普段通らない暗い道を通った時に、歩道に立つ黒いダウンにジーンズ姿の若い男性を見かけたそうです。通り過ぎる瞬間、彼女はその人物の首から上が闇に溶け込んでいくことに気がきました。直感的にこの世の者ではないと悟ったといいます。翌日、半信半疑で車のドライブレコーダーを確認しました。するとそこには、彼女の証言通りの影がはつきりと映っていました。その影には陰影がなく、地面に影も落ちていません。あまりの恐ろしさに、私たちはその日のうちに動画データを削除しました。初めての体験に、朝まで鳥肌が止まりませんでした。数週間は家族全員が極度の寝不足と体調不良に陥るほど、忘れられない恐怖となりました。

匿名



あまりの寒さに服に顔を埋めていた…という「超・防寒説」を推したいですが、影がないのは困りますね。これからは明るい大きな道を通って下さいね…